外来診療担当医表

野上病院

令和8年10月9日より

		月	火	水	木	金	土
総合診療科	9:00～12:00	中尾		中尾	森(俊)		中尾
	14:00～17:00	森(俊)	森(俊)	中尾			
内科	9:00～12:00	玉置･土井	山﨑･井宮	西	玉置	玉置･土井	山﨑
	13:00～16:00				井上(第2･4週)		
	14:00～16:00			西			
	14:00～17:00		玉置	浜崎･福本	武田(第1･3週) 土井･大野		
糖尿病内科	9:00～12:00	土井	井宮			土井	
	14:00～17:00				土井		
循環器内科	14:00～17:00		黒井 ※受付16:30まで				
外科 消化器外科	9:00～12:00		小畑	野上(浩)	濱田･櫻井	野上(浩)	小畑
	10:00～12:00			櫻井			
	14:00～16:00	濱田 (14:00～17:00)				小畑	
	15:00～17:00			種村(第2･4週)			
	16:00～17:00					野上(浩)(第1週)	
ペインクリニック外科	9:00～12:00		奥野※完全予約制				
眼科	9:00～12:00	戒田･長富	戒田･荻野	荻野･長富	長富	戒田･荻野	日赤
	14:00～17:00	戒田･長富		戒田･長富			
耳鼻いんこう科	9:00～12:00		横山	横山	森中 (第1･3･4･5週) ※受付11:30まで 横山(第2週)	横山(第2･4週) 箕輪(第1･3･5週) (9:20～12:00)	福田(第4･5週) 箕輪(第2週) (9:20～12:00)
	14:00～16:30	箕輪					
めまい外来	14:00～16:30				横山(第2･4週)		
皮膚科	9:00～11:30	川端(公)(第1･3週) 瀧脇(第2･4･5週) (9:00～11:00)				臼池 (第1･2･4週) 稲田(第3･5週) (9:00～11:00)	瀧脇(第1･5週) 北口(第2週) 平田(第3週) 小林(第4週)
泌尿器科	9:00～12:00		森(喬) ※受付11:30まで	山内 ※受付11:30まで	森(喬) ※受付11:00まで	森(喬) ※受付11:30まで	山下(第1･3週) ※受付11:00まで
	10:00～17:00	若宮 10:00～11:30		森(喬) 14:00～17:00			
脳神経外科	9:30～12:00						出原(第1･2週) 藤永(第3週) 石田(第4週)
人工関節外来	9:30～12:00		野上雅史 ※完全予約制				
リウマチ科	14:00～16:00	西村(第1週)					
リハビリテーション科	9:00～12:00	当日担当医	中尾	土井	平野	小畑	玉置

専門外来　※予約制※診察時間等変更等もありますので、ご確認下さい。

リウマチ外来	糖尿病	甲状腺	肝臓	膠原病･人工透析	炎症性腸疾患	禁煙
西村 【整形外科】	土井･西･井宮 【内科】	西 【内科】	武田 【内科】	大野 【内科】	井上 【内科】	野上(浩) 【外科･消化器外科】

⬅最新の外来診療表はQRコードよりご確認ください

のがみ泉州リハビリテーションクリニック		月	火	水	木	金	土
整形外科	9:00～12:00	野上倫昭 野上雅史 東	西村 装具 野上倫昭	野上倫昭 西村	野上雅史	野上倫昭 東	川端(第1･3週) 東(第2･4週) 角田(第2週) 若狭(第4週) 寺下(第5週)
	17:00～19:00	野上雅史		西村 ※受付18:45まで		東	
手の外科	9:00～12:00						川端(第1･3週)
脊椎外科	9:00～12:00						若狭(第4週)
内科	9:00～12:00					大野(プール検診)	
	16:30～19:00	大野				大野	
リハビリ	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
	14:00～15:30	物療	物療	物療	物療	物療	

すこやかニュース

第71号

－発　行－
2026年10月
－編　集－
野上病院
広報委員会
泉南市樽井1-2-5
TEL　072-484-0007

のがみ健康フェスタ
開催のお知らせ



日時:2026年11月1日(日)10:00～14:00
場所:野上病院1F

地域の皆さまに、野上病院をもっと身近に感じていただけるイベントを開催します!
当日は、「のがみオーケストラ」による演奏や医師による講座、チャリティバザーをはじめ、包帯･聴診器体験、足つめケア体験、こども薬剤師体験など、楽しみながら医療や健康について知ることが出来る企画を多数ご用意しています。
お子さまにも楽しんでいただけるストラックアウトやヨーヨー釣り、アハ体験、健康じゃんけん大会なども開催予定です。健康じゃんけん大会では、豪華(!?)な景品もご用意していますので、ぜひ奮ってご参加ください!
また、栄養相談や訪問診察などについての相談コーナーもありますので、気になることがありましたら、この機会にぜひご相談ください。
軽食としてフランクフルトもご用意しています♪
ご家族やお友達と一緒に楽しめる内容が盛りだくさん!
皆さまのご来場を、スタッフ一同お待ちしております!







※イベント内容は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



少しでも季節の移り変わりを楽しんでいただきたいという思いから「七夕会」を企画し、7月10日にスタッフが演奏する音楽会を開催しました!
また、院内に笹を設置し、患者様やご家族、職員が願いを込めた短冊を飾りました。皆さまに心を込めて書いていただいた大切な短冊は、近くの神社にて神職の方にご祈祷とお焚き上げをしていただきました。皆さまの願いが天に届きますよう、スタッフ一同、心よりお祈り申し上げます。
これからも、当院では季節感あふれる催しを企画してまいります。







薬の数、増えていませんか？
～「ポリファーマシー」と上手なお薬のお付き合い～

1 「ポリファーマシー」って知っていますか？

「ポリファーマシー」とは、複数を意味する「Poly（ポリ）」と、薬局・調剤を意味する「Pharmacy（ファーマシー）」を合わせた言葉です。 単に「飲んでいるお薬の数が多いこと」だけを指すのではありません。お薬が増えることで、飲み合わせの問題（相互作用）が起きたり、副作用のリスクが高まったりして、体に悪影響が出てしまっている状態のことをいいます。

2 ポリファーマシーのリスクと現状

人は加齢に伴い、肝臓や腎臓の働きが緩やかになります。そのため、若い頃と同じ量のお薬でも体内に長く残りやすく、副作用が出やすくなります。特に注意したい副作用には、次のようなものがあります。

■ふらつき・めまい
（転倒や骨折につながる恐れがあります）
■食欲不振・胃もたれ
■物忘れ・頭がボーッとする
（認知症の症状と間違われることもあります）

「年だから仕方ない」と思っていた症状が、実はお薬の副作用だったというケースも少なくありません。

3 どんなときにポリファーマシーが起こる？

お薬が増えてしまう主な原因には、次のようなものがあります。

複数の病院や診療科に通っている➡それぞれの医師が良かれと思って処方した結果、似たような効能のお薬が重複してしまうことがあります。
お薬の“悪循環（連鎖反応）”➡お薬の副作用で出た症状を「新しい病気」と勘違いし、その症状を抑えるためにさらに別のお薬が追加されていく悪循環のことです。
市販薬やサプリメントの併用➡病院のお薬だけでなく、自分で買ったドラッグストアのお薬や健康食品との飲み合わせで影響が出ることもあります。

4 ポリファーマシーを防ぐために ～今日からできる3つのこと～

お薬によるトラブルを防ぎ、安全に治療を続けるために、以下の3つを実践してみましょう。

1.お薬手帳は「1冊」にまとめる
病院や薬局ごとに分けて持たず、必ず1冊にまとめましょう。
2.受診・調剤時には必ずお薬手帳を見せる
飲んでいるすべてのお薬（市販薬やサプリメント含む）を医師・薬剤師に伝えることが大切です。
3.「かかりつけ薬局」を持つ
あなたのお薬全体を把握し、相談に乗ってくれる身近な専門家をつくりましょう。

気になる症状やお薬へのご不安がある方は、当院の薬剤部までお気軽にご相談ください。





管理栄養士の役割
食事から支える、一人ひとりの健康と回復

入院　患者さんに合わせたきめ細かな栄養管理

入院中、管理栄養士は患者さん一人ひとりの状態に合わせた栄養管理を行っています。

- **栄養状態の丁寧な聞き取り‥**入院後、まず管理栄養士が病室へ伺い、入院前の食事内容や食欲、食べやすさ、食物アレルギー、体重の変化などを確認します。ご本人からの聞き取りが難しい場合には、ご家族や前医から情報を得ることで、**安全で適切な食事提供**に努めています。
- **多職種連携によるサポート‥**病気や治療の影響で食事が進まない場合や、飲み込みにくさがある場合は、医師や看護師、言語聴覚士といった**他職種と連携**します。患者さんの状態を多角的に確認しながら、食事形態の変更や栄養補助食品の導入を主治医に提案し、回復を栄養面から支えます。
- **継続的なモニタリング‥**入院後も、体重、採血データ、食事の摂取量などを継続的に確認し、必要に応じて食事内容の見直しを随時行っています。

外来　生活スタイルに寄り添った病気の予防・改善

医師の指示に基づき、患者さんの日常生活や病状に合わせた栄養指導（食事指導）

- **幅広い悩みへの対応‥**糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病から、低栄養や体重減少といった栄養に関する悩みまで、幅広く対応しています。
- **無理のない食生活の提案‥**「何を食べればよいかわからない」「食事療法を続けられるか不安」といった患者さんの不安に寄り添い、**無理なく続けられる食生活**を一緒に考えます。
- **検査データに基づいた改善提案‥**体重や検査データを定期的に確認しながら、栄養状態を評価し、その時々の状況に応じた食事内容の改善を提案し、継続的にサポートしていきます。

食事は治療の基盤であるとともに、生活の楽しみでもあります。
私たちは栄養の専門家として、患者さんのより良い生活のために力を尽くしています。